

あきつ

2023年4月15日発行

第 637 号

発行 / 社会福祉法人 天童会 飯野 順子

令和5年度、 華やぐ1年を

理事長 飯野 順子

令和5年度は、秋津療育園65周年の節目の年です。秋津療育園には、歴史が紡いできた数々のブランドがあります。例えば、生命と健康を守る看護と介護、園生の人生を豊かにする日中活動、栄養満点で生命を育む食事、手づくりの温もりが伝わる衣服の縫製等々です。

今年度、第1に取り組みたいことは、これらのブランドに、更に磨きをかけ、輝かせて、ブランド品として、品目を表示できるようにすることです。そして、3年間の閉じられた「コロナ」の時を越えて、内部はもとより、外部に向けても発出してゆきたいと考えています。

天童会は、近年、地域支援事業に着手し、事業を包括的に展開するようになりました。職種も課題も多様になり、課題解決能力が求められています。そこで、第2に取り組みたいことは、組織力・チーム力の向上です。



皆さんは、「心理的安全性」(Psychological Safety)という概念をご存知ですか。私はこのことを最近学びました。*複雑で不確実な世界で成功するためにために必要なもの「*心理的に安全な職場を構想するために欠かせないもの」は、「心理的安全性」なのだそうです。*「心理的安全性」のあるチーム・組織に共通した特徴は、「話しやすさ」「助けあい」「挑戦」「新奇歓迎(目新しく珍しいアイデアや意見を歓迎すること)」「の4因子だっています。

更に具体的に言えば、「*率直さを特徴とする職場は、創造性、学習、イノベーションに對し、計り知れない恩恵をもたらすことができる」「*知らない』『分からない』『と言いつつことばざかさでないリーダーは、従業員の心を驚くほど、強く惹きつける」「*従業員を大切にしている環境をつくること、エンゲージメント、問題解決、パフォーマンスに素晴らしい成果が現れる」このことです。これらは一見容易にみえて、困難が伴うかもしれません、その価値は手の届かない高さではないと思います。

まだまだ「コロナ」への対応は継続しますが、3年前の脅威を思い起こすと、乗り切れる手立ても経験則として得ているので、心理的安全性があります。今年度は、中庭の満開の桜も、心なしか輝いて見えました。この桜が今年度の象徴になるようにと、手を合わせました。

【*参考】恐れのない組織「エイミー・ヒートマン」英治出版
「医療業務」No.640「心理的安全性」理想郷「高崎 祐樹」

NEWS 1 近隣近頃ニュース

所沢 みんなの食堂 めくもり

当園を定年退職された3人の元職員さんが、運営されている「子ども食堂」をご紹介します。所沢みんなの食堂めくもりは、孤立・孤食を防ぎ小さな子どもから高齢者まで一緒に楽しくご飯を食べ、老若男女交流できる「誰でも垣根なく参加できる居場所」を作ります。お腹も心もあたたかく、力が湧いてくる食事を子ども達に。みんなと食べる食事って美味しいなあと改めて感じてもらいたいという想いで始めました。埼玉県所沢市にある「さがみ典礼・東所沢駅前葬祭センター」の1室をお借りして、毎月1回、友引の土日祝日のいずれかの日にスタッフによる手作り弁当30~36食のテイクアウトとご支援いただいた食材などのプチパントリーを行っています。詳しくは下記にアクセス

https://www.instagram.com/tokorozawa_minnanoshokudou/





働く人シリーズ。今回は「運転手」です。

職員数と勤務体系を教えてください。

運転手4名(社員3・パートさん1)が日勤で勤務しています。

その他に通園センターでは、委託の業者さんのバスが3台毎日運行しています。

主な仕事内容はなんですか？

①利用者さんの外部受診時の病院への搬送、外出を伴う療育活動や取組の運行。

②通園で当園を利用される方の送迎。

③保有車両の点検と管理。

④運行管理、以上が主な仕事です。

管理している車輛はどのくらいありますか？

保有車両は全部で10台あります。そのうち送迎用はバスが1台、ワゴンが4台。その他は事務用の軽自動車などです。

整備などはどのようにしていますか？

車検や法定点検はディーラーさんでやって頂いています。日常の点検は項目を決めて自社で行っています。季節ごとのタイヤの交換も自社で行います。

車輛点検で主に注意していることはなんですか？

ブレーキとタイヤです。車の基本は「走る」「止まる」です。車は

道路の上を走ります。道路と直接干渉するのはタイヤ。それを制御できるのはブレーキだけです。ですのでブレーキとタイヤの点検を重視しています。

車輛の使用期間はどのくらいですか？

年単位での使用期間などは決めています。送迎用の車輛は担当者が決まっているので、比較的長く使用しています。10年を超える車輛もありますが、古い車輛も整備はしっかりと行っていますので安心して乗車してください。

思ったよりも長く使用されているとですね。

車に限りませんが、道具や物は「手入れ」を怠らなければ長く使用できると思っています。それでも材質の経年劣化や、エンジン内の金属疲労などにより寿命はありますね。



日常点検の様子。オイルと水。タイヤの状態、ライトのテストなどを点検し、日報に記入します。

運行の予定の流れはどのようになっていますか？

運行が必要な時は、各課から「運行指示票」が依頼されてきます。運行の希望日時や利用目的、乗員数や添乗者名などが記入され、担当課長の捺印がされています。それをもとに運行の予定を作成しています。

運行状況はどのようになっていますか？

「コロナ前の統計だと、通園利用者の送迎は毎日の朝夕、利用者の「園外療育」などの外出が年間約40運行、ドライブ取組が約150運行。外部の医療機関への送迎が100運行前後。その他に職員の送迎などもあります。



ワゴン車に乗車する様子。この時点で車椅子はリフトに固定されています。

どのような方法で車椅子を載せていますか？

送迎車には後部にリフトが設置されています。リフトには電動のモーターが搭載されていますので、無理なく乗車することができます。

乗車後は、固定ベルトと車止めを使って車椅子を固定します。ワゴン車は車椅子が2台、バスは5台の車椅子が乗車できます。



バス内の固定の様子。床面にレールが敷いてあり、任意の場所で固定が可能です。

どんなことを気を付けていますか？

急ブレーキ、急発進が無いようスムーズに走ることに気を付けています。グリップにすると放物線を描くようなスピード調整です。車用の信号機の見極めはもちろんです。歩行者用の信号の変化なども考慮して「考える運転」を早め早めの対策を実行しています。

安全運転は言いつてもありません。車椅子で乗車している方の気持ちに置き換えて、アクセルやブレーキを操作します。

また、感染症対策として光触媒での殺菌、オゾン発生器での消毒などの対策もしております。



「ドライブ取組」での出発するところです。この車輛は「日本財団」の助成を受けています。平成17年式ですが、まだまだ活躍してくれそうです。

今後の課題はなんですか？

現在は感染症対策下ですので、なかなか難しいですが、利用者の皆さんがたぐさん外に出れるような提案を出していきたいと思っています。

また搬送の考え方を広めて、たくさん利用方法を模索しています。「有償福祉輸送」の申請もその一つです。

利用される方の、「気分転換」の一役になれるよう、努力したいと思っています。



1棟 写真館

お花見と古希のお祝い・お楽しみ会の様子お届けいたします。



4棟神宮 4棟

多目的室に鳥居や賽銭箱、おみくじなどがある4棟神社をつくり、みんなでお参りました。

お賽銭を入れて手を合わせたり、おみくじを引いて今年の運

セイコーエプソン株式会社

EPSONさん提供「ゆめ水族館」 3棟

「ゆめ水族園」はFantas Projection(ファンタスプロジェクション)をベースに、映像、音楽、揺れるスクリーンを組み合わせ、やわらかな空間を作り、視覚、触覚、聴覚などを通じて豊かな感覚体験をお届けする活動です。普段から慣れ親しんでいる施設の中に、お届けする「ゆめ水族園」。実施施設の皆さまと一緒に、新たな感覚刺激を体感できる空間の可能性を模索・試行しながら深めていく場でもあります。私たちは、「ゆめ水族園」により、一人でも多くの方に豊かな感覚刺激体験の時間をお届けしていきます。(エプソンHPより)

そして、秋津療育園にも「ゆめ水族館」が来てくれました。

壁や天井に吊るした布にカクレマンノミやウツボ、ペンギンなどの海の生き物を映し、映像やリラックスする音楽を楽しみました



ジュース会とは? 3棟

行事の無い月は『ジュース会』という催しを行っています。2月のテーマは『ハワイの参拝』。神主に扮した職員が移動式神社で各部屋を回ってお参りました。

お賽銭を入れて手を合わせたり、おみくじを引いて今年の運勢を占いました

2棟 写真館

手作り神社での初詣の様子や成人式のスナップです。



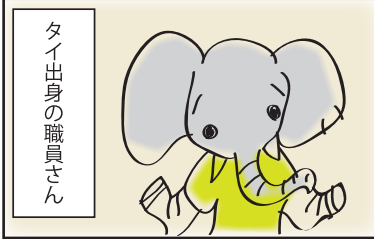
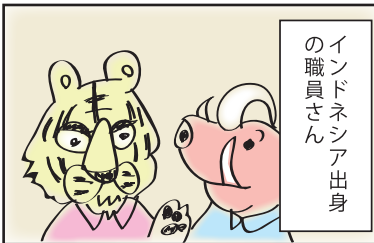
しだ 枝垂れ桜の木

中庭の枝垂れ桜の元気がない。年々葉っぱが少なくなっている。花の数も減ってきた。さて、どうしたものか・・・

そこで樹木医さんに診て頂くことになりました。



結果。根の周りの土が固くなって、水分と栄養が足りないとのこと。土を掘り返し揉んで柔らかくします。根に沿って円柱状に穴を掘り、栄養剤を埋めました。たっぷりと水をやって、風邪をひかないように布巻をしました。日焼けからも守ります。元気になあれ。

100日後に就職するうさぎ 第9話
作: 早川里英

通園センターダイニュース



1月～3月は、たくさんの制作活動を行いました。カプセルに粘土を入れて、干支の起き上がりこぼしを作ったり、牛乳パックに布や折り紙を貼って小物入れを作ったり、お雛様の顔はめを作り、撮影会もしました。3月にはSさんの成人式を行い、職員、利用者全員でお祝いしました。最後の挨拶では、Sさんが想いを伝えようとする姿に感動しました。

栄養管理室の秋レピ
お家で作る秋津の味 No.05
なめらかコーヒープリン

レンジできちゃ簡単スイーツ

材料6個分

牛乳	200cc
砂糖	大さじ4
インスタントコーヒー	小さじ2
たまご	2個

作り方

- ① 小鍋に牛乳、砂糖、インスタントコーヒーを入れ、火にかけて溶かします (*注) 沸騰させないで溶かすだけ
- ② 別の容器にたまごをほぐして、①を注ぎ入れ、よく混ぜます
- ③ 耐熱の容器 (写真はココット型) に、茶こしなどでこしながら注ぎ入れ容器ごと耐熱の深皿に並べます
- ④ 深皿にお湯を注ぎ、全体をラップで覆います。
- ⑤ レンジで600Wで、2分30秒→型の場所を変え40秒×2回加熱します (*注) 500Wの場合は、2分30秒→型の場所を変え60秒×2回
- ⑥ 粗熱がとれたら、冷蔵庫で冷やし完成です。



- ① 生クリームなどお好みでトッピングをしましょう。
- ② 牛乳の分量200ccを150ccにして、生クリーム50cc加えて同様に作成すると、コクのある濃厚なプリンに仕上がります
- ③ 砂糖は、上白糖で十分ですが、グラニュー糖を使用するとサツパリとした甘味になります。三温糖やきび砂糖は、深みが出てコーヒーの香りをひきたてます

秋津アーカイブス 23

古い写真や文献の中から、もう一度見ておきたい、読んでおきたいものを掲載します。

昭和58(1983)年 秋津の思い出

昭和35年8月、厚い日でした。筋ジストロフィイと言う難病にかかり、歩行も

大分困難になった吾が子を、武蔵野の面影が周囲にまだ残る秋津療育園へ入院させました。私はこんな草深い田舎の施設に子供を預けるのは、自分で吾が子を捨ててくるような気がして心が震えました。(中略)子供が這いながら私共の後を追って来て玄関の土間に手をつけて、大粒の涙をポタポタ流しながら「お母さん、僕なんでも言うことを聞くよ、何でも嫌がらずに食べるよ、だからお家へ連れてって」と泣き叫びました。私の胸は締めつけられるように痛くなりました。吾が子にも自分にも言いかけせるな事を言いながら、逃げる思いで後ろを振りかえらずに園から帰りました。

そして翌日、私はどうしても家にじっとして居られずに、秋津療育園へ来てしまいました。私は買物袋の中にひそかに負い紐を入れて行きました。それは私の本気になって園へお願いする気持ちがなく、どうしても本人がい厭がるなら子供を負って連れてこようと言うような中途半端な気持ちだったためでした。その翌日も、翌々日も秋津通いが続

きました。そして子供が寝つく迄園に居て、帰りそびれて園へ泊めて戴くこともありました。

そしてある日の事です。夜中の12時を過ぎる頃でした。やはり新しく入園した子供さんが、両親や自分の家を恋しがって、看護師さんが幾らなだめても泣き止まず、看護師さんも宿舎にひきあげて、その子は一人で泣いていました。その時です、廊下にコツコツと杖の音が聞こえてきました。そして草野先生が寝巻姿の儘、病室に入ってきました。そしてその泣きじゃくっている子のベッドへまるで父親のように添い寝をされました。すると間もなくあんなに泣いていた子が、すやすやと安らかな寝息を立てて寝てしまいました。その一部始終を見ていた私は、胸がじーんと熱くなりました。この人はなんという人だろう、こんな先生の處ならば安心して子供を預けられる。その時迄、今日は連れて帰ろう、明日は連れて帰ろうと、私の胸にわだかまっていた迷いが、霧が晴れるように一辺に吹き払われました。

それから7年、吾が子は私共に秋津の生活の数々の思い出を残し、暑い暑い夏の夜、静かに天に召されて行きました。

昭和58年発行 秋津療育園25年のあゆみ「われよわくとも」より

一寄付 東村山社協様(東村山市)・飯田達雄様(狛江市)・高地菊男様(小諸市)・飛田貴子様(小金井市)・日本基督教団石神井教会様(練馬区) 女子聖学院様(北区)・(有)魚三九様(清瀬市)・山本鐵子様(北区)・日本基督教団武蔵野緑会様(武蔵野市)・鈴木二郎様(杉並区) 須藤司賀子様(横須賀市)・日本基督教団東村山教会様(東村山市)・霊南坂教会様(港区)・松本久美子様(北杜市)・前園久様(練馬区) 堂本弥生様(市川市)・明治学院様(東村山市)・宮地幸子様(世田谷区)・(株)サン・アドセンター様(文京区)

編集後記

桜が散って、木々の緑色が濃くなってきました。新しい息吹が聞こえてきました。今号から近隣の様子や出来事などを紹介する「近隣近頃ニュース」を掲載いたします。秋津療育園内の記事にとらわれず、少しだけ周りの出来事や移り変わりをお届けいたします。永く来園していない皆さまにも、周囲の様子が伝わると良いな。と思っています。(池田ゆ)

あきつ 第637号

E-mail: jimukyoku@tendoukai.net
HP: http://www.tendoukai.jp
発行人/飯野順子
発行/年4回1・4・7・10月発行

